エコアクション21
認証番号0003556

2023 年 エコアクション21
環境経営レポート

株式会社カネカサンスパイス

対象期間： 2023 年4月1日 ～ 2024 年3月31日
発行日： 2024 年6月28日

ー目　次ー

1	環境経営方針	P 3
2	組織の概要、認証・登録の対象組織・活動	P 4
3	事業・製品の紹介	P 4
4	環境経営組織図及び役割・責任・権限表	P 5
5	主な環境負荷の実績	P 6
6	環境経営目標及びその実績	P 6～8
7	環境経営計画の取組結果とその評価	P 9～12
8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果びに違反，訴訟等の有無	P 13
9	緊急事態対応訓練及び環境活動	P 14
10	代表者による全体の評価と見直し・指示	P 15

1.環境経営方針

株式会社カネカサンスパイス

環境経営方針

＜環境経営理念＞

株式会社カネカサンスパイスは、企業活動と地球環境との調和をめざし、一人ひとりの真摯で前向きな努力により、高い目標の環境保全に積極的に取り組み、良き企業市民としての社会的責任を果たしていきます。

① 地域の文化・習慣を理解して、地域に根ざした企業活動を行い、積極的に社会に貢献します。
② 法令を順守し、自由競争に基づく公正な事業活動を行います。
③ 全ての従業員の人格や個性を尊重して、企業人としての能力開発と発揮を支援・促進します。
④ 安全を企業活動の最重要課題と位置づけ、健全かつ安全な職場づくり、製品の安全性確保・地球環境の保護に取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

株式会社カネカサンスパイスは、太陽と大地に育まれた香辛料・香辛野菜を優れた技術で香り豊かな「食」の素材とし、「食」の創造に貢献するという企業理念に基づき、環境との共生・調和を最重要課題として認識し自ら責任を持ち、従業員一丸となって環境との共生・調和に配慮した事業活動に継続的に取り組み、食品廃棄物及び環境負荷を継続的に削減していきます。

１．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

２．省エネルギー活動に取り組み、二酸化炭素排出量の削減に努めます。

３．廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制につとめ、食品リサイクル率の向上に努めます。

４．適正な利用により水使用量の削減に努めます。

５．化学物質（ＰＲＴＲ法関連物質等）の使用量維持管理に取組みます。

６．環境に配慮した製品の提供に努めます。

７．近隣企業・住民の皆様との環境コミュニケーションを積極的に取り組みます。

制定日：２００８年　９月　１日
改訂日：２０２０年　７月　１０日

代表取締役社長　岡田博之

2.組織の概要

更新日： 2024年6月28日

（1）名称及び代表者名

株式会社カネカサンスパイス

代表取締役社長　岡田　博之

（2）所在地

本　　社	大阪府大阪市淀川区十三東1丁目10番17号
滋賀工場	滋賀県東近江市大林町697
茨城工場	茨城県結城市新堤仲通り5番14号
大阪支店	大阪府大阪市淀川区十三東1丁目10番17号
東京支社	東京都豊島区南大塚3丁目46番3号
名古屋支店	愛知県名古屋市中区丸の内3丁目13番1号
四国支店	愛媛県今治市南宝来町2丁目2-1
九州支店	福岡博多区博多区博多駅東2丁目5番19号

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	取締役生産部長	楢原　浩二	TEL:06-6306-2133
担当者	生産部生産技術G	村川　健吾	TEL:06-6306-0378

（4）事業内容

業務用香辛料、業務用カレーパウダー、カレールゥ、業務用加工食品関連の製造・販売・研究開発

（5）事業の規模

製品出荷額　　20,968百万円（2023年度実績　委託加工先含む）

主要製品生産量　14,933トン　（2023年度実績）

	合計	本　　社	滋賀工場	茨城工場	大阪支店
従業員　（名）	295 名	50 名	100 名	86 名	8 名
延べ床面積　（㎡）	16,281 ㎡	945 ㎡	8,015 ㎡	6,254 ㎡	187 ㎡

東京支社	名古屋支店	四国支店	九州支店
38 名	4 名	4 名	5 名
603 ㎡	79 ㎡	129 ㎡	69 ㎡

（6）事業年度　　4 月　1 日 ～　3 月 31 日

3.認証・登録の対象組織・活動

（1）認証・登録範囲（2009年認証取得）

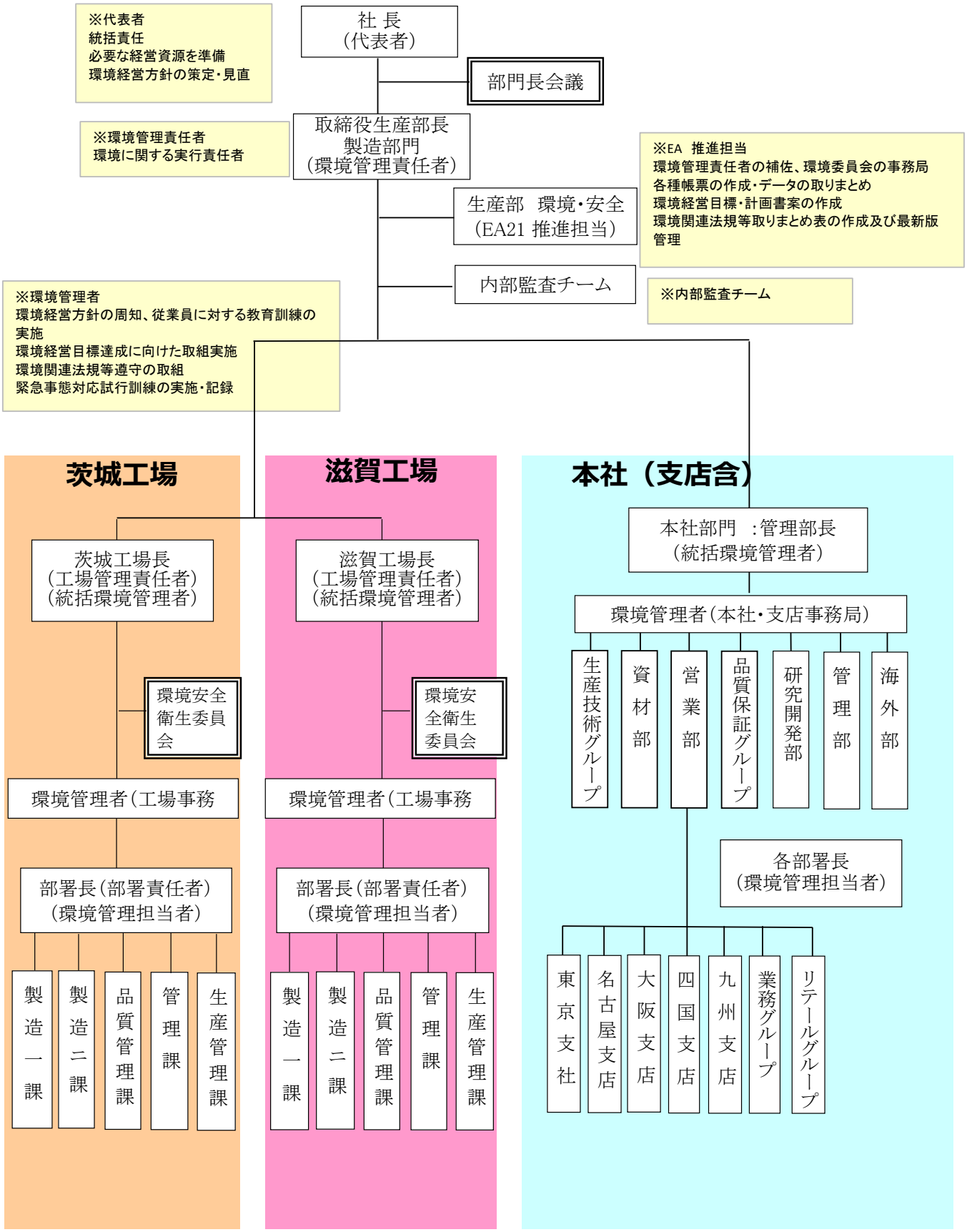
登録組織名：　株式会社カネカサンスパイス

対象事業所：　全拠点

活動：　業務用香辛料、業務用カレーパウダー、カレールゥ、業務用加工食品関連の製造・販売・研究開発

4.環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：　2024年6月28日



5.主な環境負荷の実績(全社)

項　目		単位	2021年	2022年	2023年
製品生産量		ﾄﾝ	12,234	12,634	12,562
二酸化炭素総排出量※		kg-CO_2	2,274,966	2,316,633	2,590,107
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量	kg	3,637	3,429	3,658
	産業廃棄物排出量		215,156	235,419	199,475
食品廃棄物	発生量	kg	229,600	230,180	243,160
	発生抑制量		0	0	0
	再生利用量		227,210	219,320	225,640
	熱回収量		0	0	0
	減量量		0	0	0
	再生利用以外の量		0	0	0
	廃棄物処理量		2,390	10,860	17,520
	食品再資源化実施率	%	99.0%	95.3%	92.8%
総排水量		m^3	55,732	54,431	51,256

※1　2021年以前は関西電力CO2排出係数(0.334)を引用　※1　0.311　※2　0.311　関電値　0.434 kg-CO2/kWh

※2　2022年は関西電力CO2排出係数(0.311)、茨城工場のみ東電CO2排出係数(0.457)を引用　東電値　0.39

6.（1）環境経営目標及びその実績（全社）

評価基準(達成:○・未達成:×)

項　目 ＼ 年　度		2022年	2023年		評価	2024年	2025年
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
1)電力及び化石燃料の削減	kg-CO2/t	183.4	181.6	206.2		179.7	177.9
	基準年度比		99%	112.4%	×	98%	97%
	kg-CO2/年	2,316,633	2,293,467	2,590,107		2,270,300	2,247,134
2)食品廃棄物の削減及びリサイクル	kg/t	18.2	18.0	19.4		17.8	17.7
	基準年度比		99.0%	106.4%	×	98%	97%
	kg/年	230,180	227,878	243,160		225,576	223,275
	自主目標	98.0%	98.0%	92.8%	×	98.0%	98.0%
	食リ法目標	95%維持向上	95%維持向上	未達		95%維持向上	95%維持向上
3)その他の産業廃棄物の削減及びリサイクル	kg/t	18.6	18.4	15.9		18.2	18
	基準年度比		99%	85.4%	○	98%	97%
	kg/年	235,419	233,065	199,475		230,711	228,356
4)一般廃棄物の削減	kg	3,429	3,395	3,658		3,360	3,326
	基準年度比		99%	106.7%	×	98%	97%
5)水道水の削減	m^3/t	3.20	3.17	2.94		3.14	3.07
	基準年度比		99.0%	91.8%	○	98.0%	97.0%
(上水のみ原単位管理)	m^3/年	40,436	40,031	36,904		39,627	39,223
6)化学物質の適正管理	kg	5,758	5,700	5,709		0	0
	基準年度比		99.0%	99.1%	○	0.0%	0.0%

6.（2）環境経営目標及びその実績（滋賀）

評価基準(達成:○・未達成:×)

項目＼年度		2022年（基準値）	2023年（目標）	2023年（実績）	評価	2024年（目標）	2025年（目標）
1)電力及び化石燃料の削減	kg/t	175.4	173.6	202.0		171.9	170.1
	基準年度比		99%	115.2%	×	98%	97%
	kg-CO2/年	1,344,030	1,330,590	1,604,059		1,317,149	1,303,709
2)食品廃棄物の削減及びリサイクル	kg/t	20.4	20.2	20.6		20.0	19.8
	基準年度比		99%	101.1%	×	98%	97%
	kg/年	156,480	154,915	163,810		153,350	151,786
食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上	自主目標	98.0%	98.0%	94.5%	×	98.0%	98.0%
	食リ法目標	95%維持向上	95%維持向上	未達		95%維持向上	95%維持向上
3)その他の産業廃棄物の削減及びリサイクル	kg/t	17.6	17.42	16.7		17.2	17
	基準年度比		99%	94.9%	○	98%	97%
	kg/年	134,820	133,472	132,600		132,124	130,775
5)水道水の削減	m^3/t	4.35	4.31	3.78		4.27	4.22
	基準年度比		99.0%	86.9%	○	98.0%	97.0%
(上水のみ原単位管理)	m^3/年	33,358	33,024	30,034		32,691	32,357
6)化学物質の適正管理	kg	2,147	2,126	2,254		2,104	2,083
	基準年度比		99.0%	105.0%	△	98.0%	97.0%

※　目標管理のCO2排出係数は、関西電力2023年度の排出係数0.434kg-CO2で管理しました。

6.（3）環境経営目標及びその実績（茨城）

評価基準(達成:○・未達成:×)

項目＼年度		2022年（基準値）	2023年（目標）	2023年（実績）	評価	2024年（目標）	2025年（目標）
1)電力及び化石燃料の削減	kg/t	166.8	165.1	174.5		163.5	161.8
	基準年度比		99%	104.6%	×	98%	97%
	kg-CO2/年	828,968	820,678	806,803		812,389	804,099
2)食品廃棄物の削減及びリサイクル	kg/t	14.4	14.2	16.8		14.1	13.9
	基準年度比		99%	116.9%	×	98%	97%
	kg/年	156,480	154,915	163,810		153,350	151,786
食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上	自主目標	98.0%	98.0%	91.3%	×	98.0%	98.0%
	食リ法目標	95%維持向上	95%維持向上	未達		95%維持向上	95%維持向上
3)その他の産業廃棄物の削減及びリサイクル	kg/t	17.0	16.8	14.4		16.7	16
	基準年度比		99%	84.4%	○	98%	97%
	kg/年	84,524	83,679	66,394		82,834	81,988
5)水道水の削減	m^3/t	1.42	1.41	1.49		1.40	1.38
	基準年度比		99.0%	104.3%	×	98.0%	97.0%
(上水のみ原単位管理)	m^3/年	7,078	7,007	6,870		6,936	6,865
6)化学物質の適正管理	kg	3,257	3,224	3,455		3,192	3,159
	基準年度比		99.0%	106.1%	×	98.0%	97.0%

※　目標管理のCO2排出係数は、東京電力2023年度の排出係数0.390kg-CO2で管理しました。

6.（4）環境経営目標及びその実績（本社・支店含）

評価基準(達成:○・未達成:×)

項目 ＼ 年度		2022年	2023年		評価	2024年	2025年
		（基準値）	（目標）	（実績）		（目標）	（目標）
1)電力及び化石燃料の削減	kg-CO2/年	143,635	142,199	179,245		140,762	139,326
	基準年度比		99%	124.8%	×	98%	97%
2)食品廃棄物の削減及びリサイクル	kg/年	2,320	2,297	1,750		2,274	2,250
	基準年度比		99%	75.4%	◎	98%	97%
食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上	自主目標	98.0%	98.0%	98.0%	○	98.0%	98.0%
	食リ法目標	95%維持向上	95%維持向上	達成		95%維持向上	95%維持向上
3)その他の産業廃棄物の削減及びリサイクル	kg/年	1,095	1,084	1,141		1,073	1,062
	基準年度比		99%	104.2%	×	98%	97%
4)一般廃棄物の削減	kg/年	3,637	3,601	3,658		3,564	3,528
	基準年度比		99.0%	100.6%	×	98.0%	97.0%
6)化学物質の適正管理	kg/年	225.0	222.8	254.1		220.5	218.3
	基準年度比		99.0%	112.9%	×	98.0%	97.0%

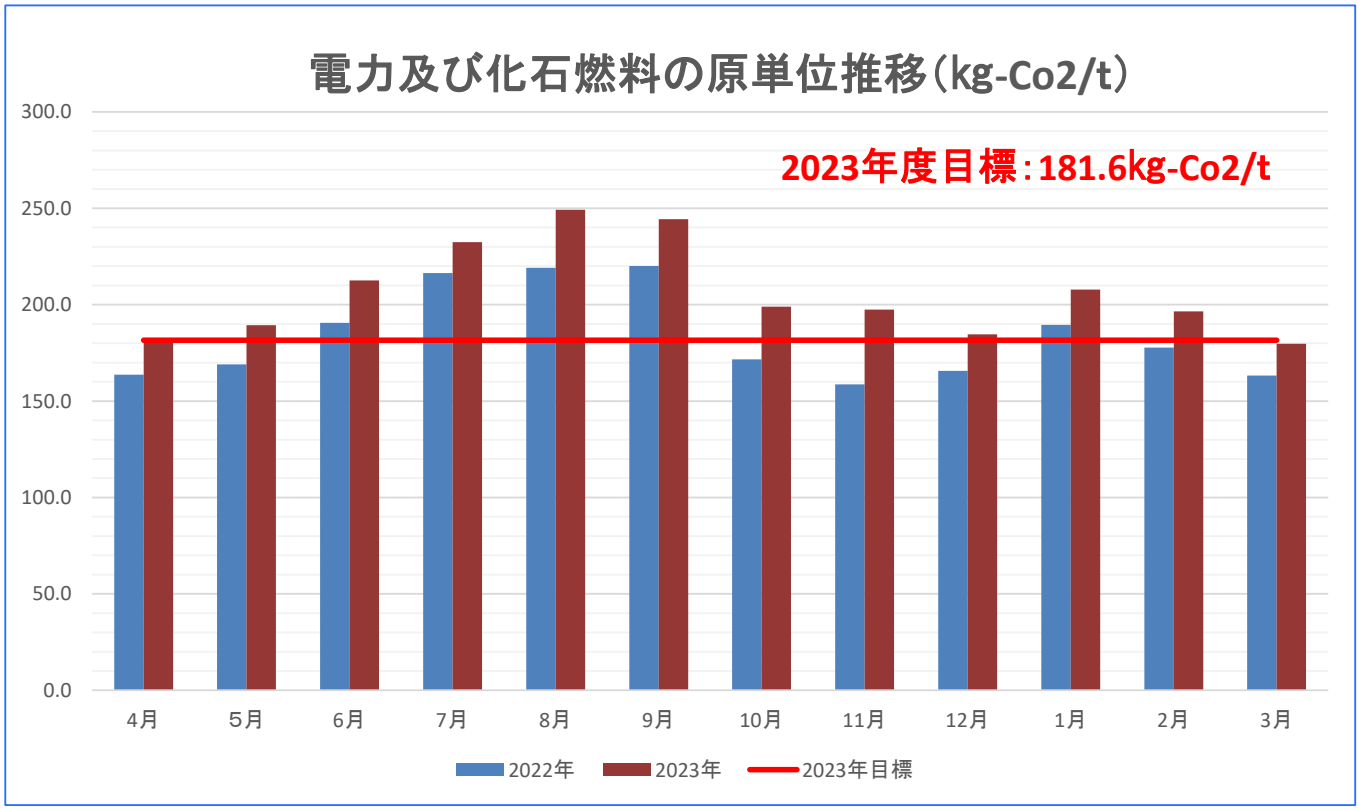
※　目標管理のCO2排出係数は、関西電力の2023年度の排出係数0.434kg-CO2で管理しました。

7.取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

1)電力及び化石燃料の削減

目標比較:◎大幅達成(-20%以上)〇達成(0～-19%以上)△未達(0～19%)×大幅未達(20%以上)

	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
原単位目標	△	目標に対して未達
更新設備省エネへ更新	〇	電力に於いて、関電CO2排出係数2022年度(0.311)→2023年度(0.434) 39.6%増となり、主力の滋賀工場と本社でのCO2排出量に大きく影響し、使用量原単位は前年同等、CO2原単位22%悪化となった。滋賀工場単独では、空調機器制御機能活用、省エネ機器取付、排水処理施設更新により使用量原単位6.5%減とするも成果が見えない結果となった。LPGでは滋賀工場ボイラー更新と、まとめ生産取組により稼働時間短縮し、使用量原単位6.7%減、CO2原単位6.7%減と良好な結果であった。一方、灯油に於いては、茨城工場での生産品種構成により、ボイラー稼働が増えたことにより、使用量原単位4.4%増、CO2原単位4.4%増と悪化した。総合CO2排出量原単位は、対前年目標に対し12.4%悪化し、目標に13.6%未達となった。次年度は空調機器の電力ロス削減、省エネ機器取付、漏れロス削減に取り組む。
空調温度の適正化	〇	
蛍光灯等省エネ更新	〇	
不要な電灯消灯・PCエコモード	〇	
クールビズの実施	〇	
生産機器のメンテ強化	〇	
生産工程の効率生産の追及	〇	
歩留り向上による原単位向上	△	
不適合品発生低減による原単位向上	×	
営業のエコドライブの推進	〇	



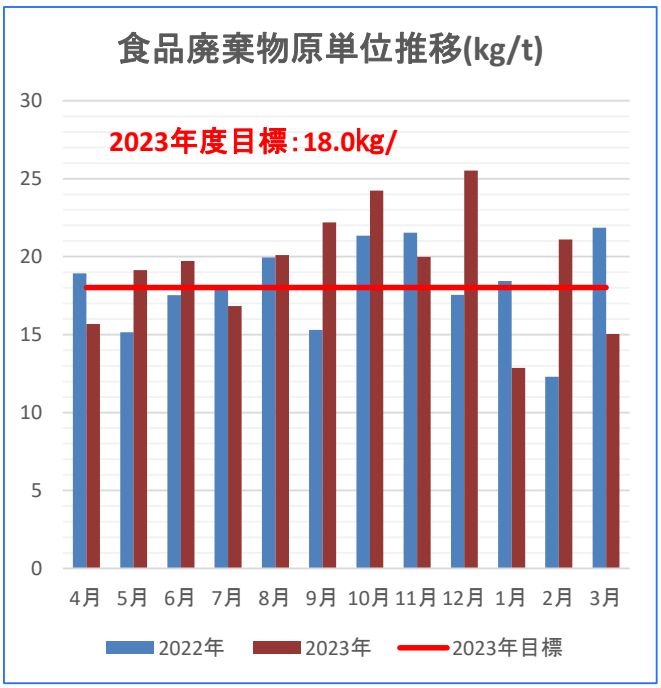
2)食品廃棄物の削減及びリサイクル

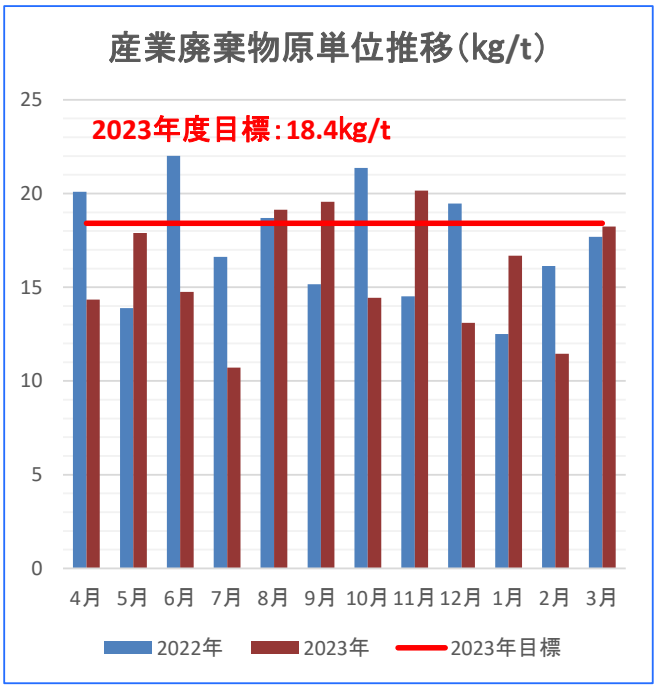
目標比較:◎大幅達成(-20%以上)○達成(0～-19%以上)△未達(0～19%)×大幅未達(20%以上)

	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
原単位目標	×	目標に対して未達
分別の徹底	○	発生量対前年5.6%増、原単位比6%悪化、目標に対し7.4%未達。各事業所ごとでは滋賀工場は排水処理更新により一時的に汲み上げ汚泥9tが廃棄となり、継続していた再生利用等実施率100%が89%となった。茨城工場では不適合品の発生、長期在庫原料廃棄により対前年原単位比16.9%悪化した。本社・営業:開発ではサンプル原料の再使用に取組み発生量前年比25%減とした。次年度は、全社的な取り組みとして原料廃棄及び不適合品の発生原因を特定し、廃棄物削減を図る。
不適合・賞味期限切れ品の削減	×	
製品歩留り向上	○	
リサイクルの維持管理	○	
廃棄物発生箇所の明確化	○	

3) その他の産業廃棄物の削減及びリサイクル

	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
原単位目標	○	目標達成
分別の徹底	○	対前年廃棄量13.6%減、原単位9%削減で、目標比13.8%減で達成。滋賀工場では廃棄量1.6%減。工程使用不可パレットの運送会社への提供などが効果有り。 茨城工場では結城市での事業系ゴミ回収にて21%削減。 本社・品質保証にて廃プラ66kg増加。(新規分析項目増加のため。)　次年度は、臭気付着により包材再生利用引き取り先の確保が困難な為、新規再生先の選定に注力し、現状維持に取り組む。
有価物の維持・移行推奨	○	
廃棄物発生箇所の明確化	○	
リサイクルの維持管理	○	



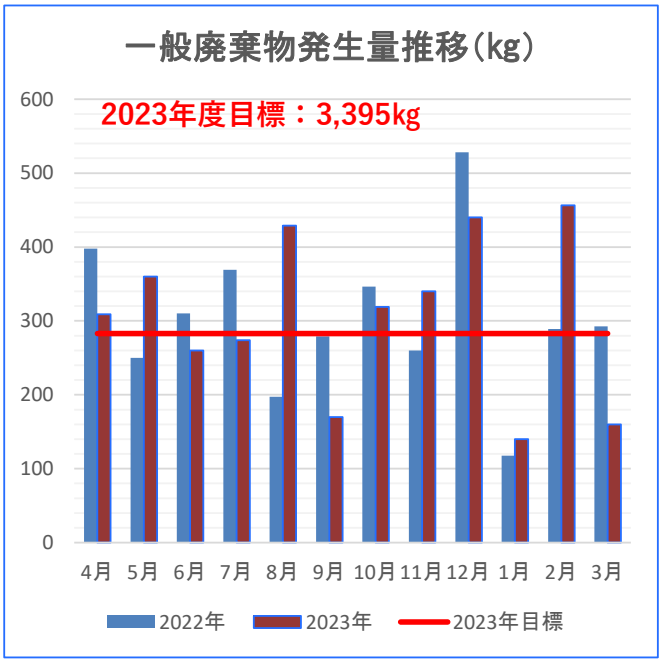


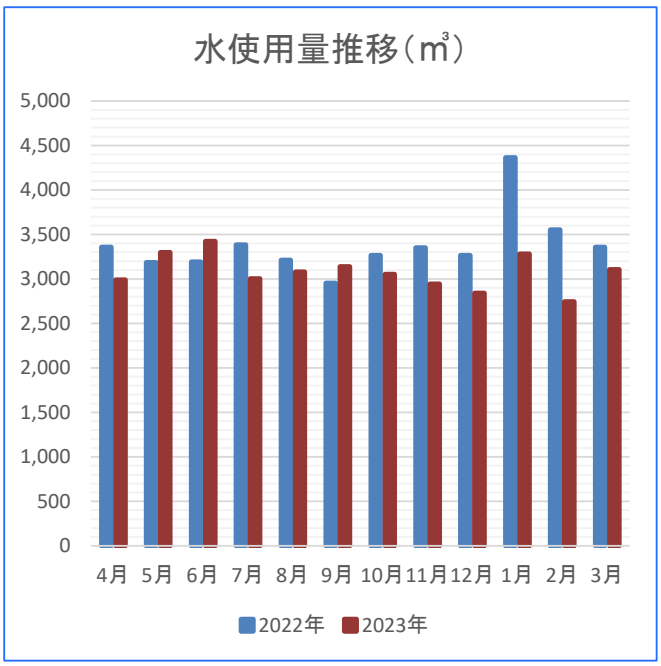
4）一般廃棄物の削減

	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
原単位目標	△	目標達成
両面コピー	○	目標比7.8%増。東京支社EC販売増加による印刷物増加にてコピー用紙58，500枚増。 次年度は各種申請での電子化推進と運用の見直し、EC販売による印刷物削減に取り組む。
会議等のﾍﾟｰﾊﾟｰﾚｽ	○	
受発注システム導入によるﾍﾟｰﾊﾟｰﾚｽ	○	

5）水道水の削減

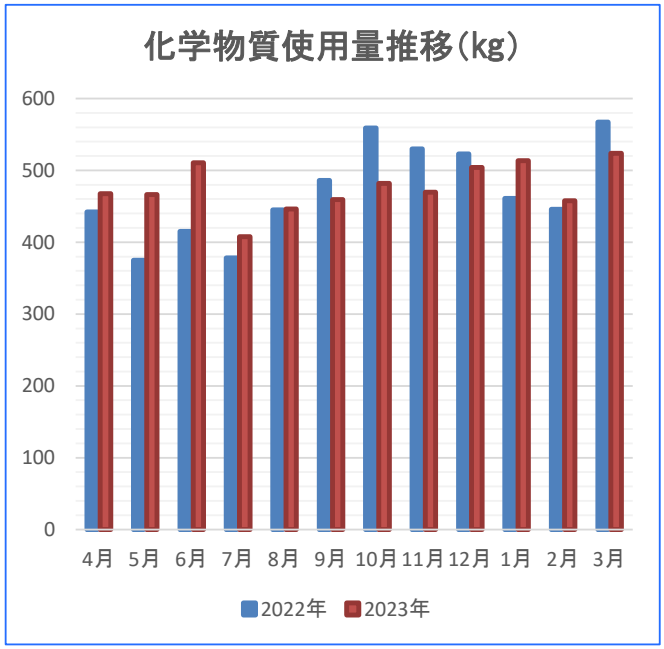
	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
原単位目標	○	目標達成
洗浄方法・回数の見直し削減	○	アレルゲン工程洗浄方法の見直し、まとめ生産によるブレンドライン大型化と切替回数削減、積雪時の解凍・除雪方法改善、節水継続取組により目標比原単位7.25%削減。
地下水の利用	○	
節水機器・備品の導入	○	
漏水・流水監視	○	





6）化学物質の適正管理

	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
半期ごとに数量の把握	●	対前年0.8%減。適正に管理を行っている。 厚労省より配布されている「CREATE-SIMPLE」を用いたリスク評価ファイルを作成。SDSの更新も行い、ネットワーク上で確認可能な体制を構築。
適切な保管・廃棄処理	●	
リスクアセスメントの実施、従業員への教育	●	
PRTR対象物質大気放出報告（県）	●	



8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

適用法令等の順守状況

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	本社及び各営業拠点	滋賀	茨城
食品リサイクル法	食品廃棄物の発生抑制及び再生利用等実施率の向上	○	○	○
廃棄物処理法	産業廃棄物（動植物残渣・脱水汚泥・廃プラ等）、一般廃棄物	○	○	○
水質汚濁防止法	排水処理装置及び排水処理基準の順守	－	○	○
消防法（危険物）	エチルアルコール、灯油	－	○	○
騒音規制法	送風機・空気圧縮機	－	○	○
振動規制法	圧縮機	－	○	-
大気汚染防止法	小型ボイラー（ばい煙発生装置等）	－	○	○
省エネルギー法	原油換算量把握	○	○	○
悪臭防止法	殺菌装置等から排出される臭気の管理	－	○	○
浄化槽法	設備の保守点検・定期検査	－	○	○
高圧ガス保安法	N2及びLPG消費設備	－	○	○
フロン排出抑制法	業務用第一種特定製品冷蔵機器及び冷凍機器の定期点検	○	○	○
PRTR法	灯油ボイラー燃焼時のキシレン・1,2,4－トリメチルベンゼン大気排出	○	○	○
リサイクル法	パソコンのリサイクル化	○	○	○
小型家電リサイクル法	小型家電のリサイクル化	○	○	○

○環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制の違反や訴訟は有りません。

今後も企業コンプライアンスを遵守し、関係当局に相談を仰ぎ、高いレベルで維持するように努めて参ります。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去4年間ありません。

食品リサイクル法の遵守状況については、80％以上を継続しております。

9.緊急事態の対応訓練及び環境活動

緊急事態の対応訓練

想定する緊急事態	訓練内容	主な取り組み
火災 地震 救護活動	① 全従業員対象で実施 ② 防災（避難）訓練のシナリオを事前に作成し全員で共有化し、手順を周知する ③ 人名救助第一で速やかに避難場所へ移動 ④ 開催は火災想定・地震想定で各1回／年 ⑤ 訓練内容を評価し、不具合の改善を行う	・通報訓練、避難誘導、救護訓練、緊急処置訓練（火災時の役割分担表に順ずる） ・消火器具の操作訓練実施（初期消火活動） ・各工程ごとの防災具で対応（誘導灯、担架） ・BCPマニュアルの確認 ・緊急処置（灯油・高圧ガス等）訓練手順の教育手順の見直し

被災者救助訓練 滋賀6

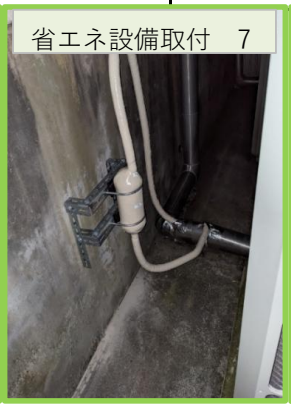
防火避難訓練 茨城6

消火栓操法訓練 大阪10

環境活動の記録

活動の種類	活動の内容	主な取り組み
地域美化	①地域清掃 工場周辺道路の清掃活動（滋賀） **工場周辺の美化活動(茨城)**	 ・毎月、幹部職15名にて周辺道路500mをゴミ回収 ・緑地の美化・植栽手直し
CO2削減	②CO2削減取組	・αESG節電設備取付により消費電力削減 ・空調集中制御運転により、消費電力削減
農業支援	③自然農法の継承支援	・和歌山県山椒農家での収穫、加工、販売支援

山椒収穫　6


省エネ設備取付　7

緑地美化　3

10.代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年6月28日

2023年度は、エネルギーコストが高止まりする中、工場での省エネ取組、関係部署と連携した生産性向上の取組を実行し、電力、ガスの原単位削減を滋賀工場で実現した。
　次年度は、茨城工場へ水平展開するとともに、蒸気、空気の漏洩改善による、省エネ活動を展開する。
CO2排出量は、関電の電力CO2排出係数見直しで未達となったが、次年度以降も、省エネ活動の強化した取組を継続する。
廃棄物は、未達要因である品質不適合、原料賞味期限切れ等、慢性的に発生する廃棄物に対して、全社取組で削減に向けた改善を実行するとともに、リサイクル化に向けた取組を実行する。

　一方、ビジネス環境では円安が継続し、またエネルギーコストも高止まりし、コスト上昇要因が大きく、経営的に厳しい状況が続いた。最適生産による効率化を目指し、アレルゲン製品生産の工場割り振りの実施、まとめ生産でのロットの拡大、営業による顧客交渉にて、発注単位の増量等の取り組みを強化し、コストダウンでは一定の成果を上げた。継続課題である、廃棄の削減については成果を出せていない。根本的な課題があるのか今一度精査し、廃棄削減に取り組んで頂きたい。

環境経営方針の見直し	☑ 変更なし	□ 変更あり	
環境経営目標・計画の見直し	☑ 変更なし	□ 変更あり	実績を踏まえて見直すこと
実施体制、その他の見直し	☑ 変更なし	□ 変更あり	